



Kodak

i1200/i1300 Plusシリーズスキャナー

ユーザーズガイド

安全性について

ユーザへの注意事項

- スキャナーは— 5.5 kg (12 lbs) の荷重に耐えられる安定した、平らな場所に設置してください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気の当たる場所にスキャナーを設置しないでください。感電または出火の危険があります。スキャナーと電源装置は室内の乾いた場所でのみ使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから 1.52 m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。
- スキャナーに付属していた電源コードのみを使用してください。その他の電源コードを使用すると、感電または製品破損の危険があります。
- 電源コードがコンセントにしっかり接続されていることを確認してください。接続がゆるいと、感電または出火の危険があります。
- 電源コードを破損したり結んだり、切断または改造しないでください。感電または出火の危険があります。
- スキャナーは壁のコンセントに直接接続してください。スキャナーに延長コードまたはケーブルを使用しないでください。
- スキャナーに付属の AC アダプタのみを使用してください。スキャナーの AC アダプタを別の製品で使用しないでください。
- 電源コンセントの周辺には十分なスペースを空け、緊急時にすぐにプラグを外せるようにしてください。
- スキャナーが異常に熱い、異臭がする、煙が出る、異音がする場合は、使用を停止してください。スキャナーを即座に停止して、電源コードをコンセントから外してください。コダックサービスセンターにお問い合わせください。
- スキャナーまたは AC 電源アダプタを分解または改造しないでください。
- スキャナーを電源コードおよびインターフェースケーブルが接続されたまま動かさないでください。コードまたはケーブルが破損します。スキャナーを移動する前に電源コードをコンセントから抜いてください。
- コダックが推奨するクリーニング手順に従ってください。エアー、液体、ガススプレークリーナを使用しないでください。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動させ、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- 化学製品の化学物質安全データシート (MSDS) は、次のコダック Web サイトで入手できます。(www.kodak.com/go/msds)。ウェブサイトから MSDS にアクセスする場合、消耗品のカタログ番号を提示する必要があります。消耗品とカタログ番号については、このガイドの「消耗品」を参照してください。

環境に関する情報

- コダック i1200/i1300 Plus シリーズスキャナーは、世界各国の環境要件に対応できるよう設計されています。
- メンテナンスまたはサービス時に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規定に従うか最寄のコダック代理店にお問い合わせください。
- 廃棄やリサイクルについては、地域の自治体にお問い合わせください（米国の場合は、www.kodak.com/go/scannerrecycling を参照してください）。
注：製品には水銀が含まれています。地域、州または連邦政府の法律に従って廃棄してください。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- 部品は再利用、リサイクルを行うように設計されています。
- コダック i1200/i1300 Plus シリーズスキャナーは国際エネルギースタープログラムに適合しており、出荷時にはスリープモードへの移行時間が 15 分に設定されています。

ヨーロッパ連合



このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集/回収プログラムの詳細については、最寄のコダック代理店にお問い合わせください。または、www.kodak.com/go/recycle を参照してください。

REACH 規則 ((EC) No. 1907/2006) 第 59(1) 条の対照リストに含まれる物質に関する情報については、www.kodak.com/go/REACH を参照してください。

騒音

Maschinenlärminformationsverordnung – 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB(A).

[Machine Noise Information Ordinance — 3, GSGV
操作者位置の騒音は <70dB(A) 以下。]

EMC 声明

米国：この装置は、FCC 規則の Part 15 に従った Class B デジタル装置に対する制限に適合していることが検査され、証明されています。これらの制限は、居住設備での有害な電波障害に対して適切な保護機能を提供するように設計されています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置、ご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。ただし、取扱説明書に従って設置した場合でも障害が発生する可能性があります。この装置が無線通信またはテレビ受信の障害となる場合には（これは装置をオン/オフすることで判定できます）、次の 1 つ以上の方法で障害を改善されることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変える、または場所を移動する。
- この装置と受信機との距離を広げる。
- この装置を、受信機が接続されている回線とは異なるコンセントに接続する。
- 取扱店または信頼できるラジオ/テレビ関係の技術者に問い合わせる。

準拠に対して責任を負う当事者の明示的な許可を得ないまま機器を改造または改変した場合は、機器を操作する権限を失う場合があります。製品に被覆インターフェースケーブルが同梱されている場合、または製品を設置する際に被覆インターフェースケーブルを追加コンポーネント/アクセサリとして使用するよう指定されている場合は、FCC 規制に準拠するためにそれらのケーブルを使用する必要があります。

韓国：この機器は家庭で使用するための EMC 登録を取得しており、住宅でご利用いただけます。

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

日本：この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置を家庭環境でラジオやテレビジョン受信機の近くで使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい設置と運用を実施してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

概要

1-1

設置方法

2-1

スキャン

3-1

メンテナンス

4-1

付録

1 概要

目次

概要.....	1-1
参考資料.....	1-1
アクセサリ	1-2
同梱品一覧	1-2
スキャナーのコンポーネント	1-3

コダック i1200、i1300 Plus シリーズスキャナーは、ワークグループやその他様々な用途に利用できるコンパクトなドキュメントスキャナーです。各モデルには、本体を傾けて入力/出力トレイの位置を調整できる機構が用意されています。各モデルには、ボタンに触れるだけでイメージの Eメール送信、印刷など、さまざまなアプリケーションに取り込むことができる、スマートタッチ機能を搭載しています。また、i1200/i1300 Plus スキャナーには、オプションで A3 サイズのコダックフラットベッドの取り付けも可能です。



i1200/i1300 Plus シリーズスキャナーには以下のモデルが含まれます。

- *Kodak i1210 Plus Scanner*
- *Kodak i1220 Plus Scanner*
- *Kodak i1310 Plus Scanner*
- *Kodak i1320 Plus Scanner*

注：この『ユーザーズガイド』では、コダック i1200/i1300 Plus シリーズスキャナーの機能や手順について説明します。特に指定がない限り、本マニュアルに記載されている情報は全モデルに該当します。

参考資料

この『ユーザーズガイド』以外に、次の書類が用意されています。

- **インストールガイド** – スキャナーの取り付けを手順ごとに説明します。
- **スキャンセットアップガイド** – コダック i1200/i1300 プラススキャナーには TWAIN データソースおよび ISIS ドライバが同梱されています。スキャンセットアップガイドでは、基本的なイメージ処理機能の方法を説明します。インストール CD に PDF ファイルで収録されています。

- **スマートタッチユーザーズガイド** – スマートタッチ機能の使用法に関する情報と手順を説明します。このガイドは、インストール CD に PDF 形式で提供されています。
- **Reference Guide** – スキャナーをクリーニングする手順を図解で示します。このガイドはスキャナーのそばにおいて置いて、いつでも参照できるようにしてください。

アクセサリ

- **コダック白バックグラウンドアクセサリ** – 透過性の高い原稿や非常に薄い原稿をスキャンする場合に、このアクセサリを使用すると、スキャン中に背景に写り込む黒い部分がなくなり、イメージがより白く仕上がります。CAT No. 892 7717
- **コダック A3 サイズ対応フラットベッド** – コダック A3 サイズ対応フラットベッドにより、コダック i1200/i1300 Plus シリーズスキャナーを使って、11 x 17 インチ (A3) までの規格外のドキュメントをスキャンできるようになります。CAT No. 179 6747

同梱品一覧

開梱と梱包品確認の前に

- Kodak i1210 Plus、i1220 Plus、i1310 Plus または i1320 Plus Scanner
- 出力トレイ
- オプションの出力トレイキット
- USB 2.0 ケーブル
- 電源アダプタ
- AC 電源コード
- クリーニングキットのサンプル
- 次の物品が入ったフォルダ
 - インストール CD
 - アプリケーション CD (ScanSoft PaperPort)
 - 保証/登録シート
 - ユーザーズガイド (英語版)
 - Maintenance Guide (英語版)
 - インストールガイド
 - サービス & サポートの問い合わせ先シート
 - その他のパンフレット (「国内連絡先詳細」や「製品保障の登録は使用しません」)

スキャナーのコンポーネント

前面部



スキャナーカバー — このカバーを開いて、内部のイメージングガイドやセパレーションモジュールなどのメンテナンスを行います。

チルトボタン — スキャナーを上向きまたは下向きに角度を変えることができます。

標準の出カトレイ — スキャン済みの原稿を収納します。スキャンするページ数が 5 枚以内の場合は、このトレイを使用します。それ以外の場合は、オプションの出カトレイキットを使用してください。

入カトレイ — 最高 75 枚までの原稿をセットできます (20 lb./75g/m²)。

ファンクションウィンドウ — 0 ~ 9 が表示されます。これらの番号は、事前設定された機能に対応します。エラーが発生した場合、「E」が表示されます。

スクロールボタン — 定義された機能やスキャン用のアプリケーションを選択します。

スタートボタン — ファンクションウィンドウに表示されている数字に関連付けられている、アプリケーションを起動します。

LED インジケータ — 点滅または点灯してスキャナーの状態を表します。

- **緑色で点灯**：スキャナーの準備完了
- **緑色で点滅**：スキャナーの準備中
- **赤色で点滅**：「スキャナーカバーが開いている」などのエラー状態を表します。このとき、ファンクションウィンドウには「E」と表示されます。エラーコードの詳細は、第5章「トラブルシューティング」を参照してください。

注：スタートボタン、スクロールボタン、ファンクションウィンドウは、スマートタッチ機能で使用します。

後面部



電源スイッチ — スキャナーをオン／オフします。

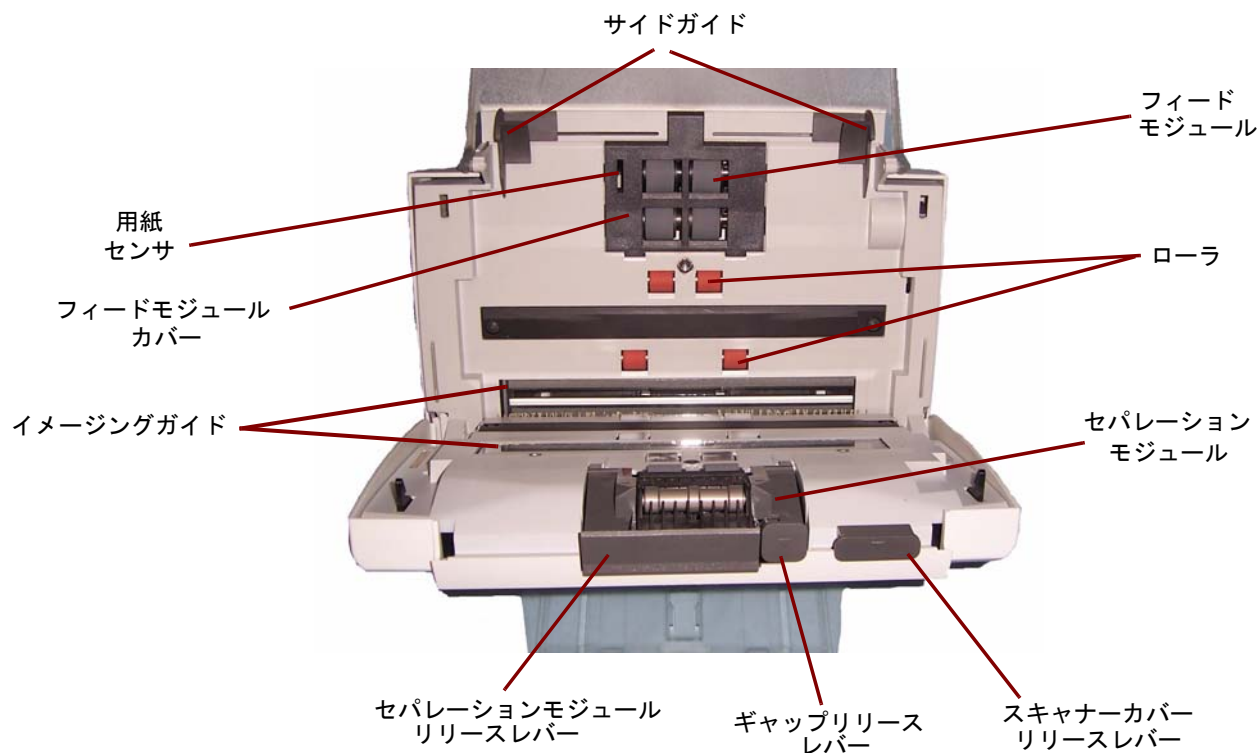
電源ポート — 電源コードをスキャナーに接続します。

USBポート — スキャナーをPCへ接続します。

フラットベッドポート — オプションのフラットベッドアクセサリをスキャナーに接続します。

セキュリティロックポート — セキュリティロックをスキャナーに接続します。標準的なセキュリティロックは、事務用品店などでご購入いただけます。取り付け手順は、セキュリティロックの付属の手順書を参照してください。

内部



サイドガイド – スキャンする原稿のサイズに合わせて、ガイドを調整します。

用紙センサ – 入カトレイにセットされた原稿を検出します。

フィードモジュールカバー – フィードモジュールやフィードモジュールタイヤを清掃、交換する場合に、このカバーを外します。

イメージングガイド – 最適な画像品質のため、イメージングガイドを清潔に保ってください。

セパレーションモジュールリリースレバー – セパレーションモジュールを清掃、交換する場合、このリリースレバーを下に押してモジュールを取り外します。

ギャップリリースレバー – 特別な処理を必要とする原稿（破損の激しい原稿など）用に、フィードモジュールとセパレーションローラの間を手動で調整できます。

フィードモジュール、ローラ、セパレーションモジュール – さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。

スキャナーカバーリリースレバー – スキャナーカバーを開きます。清掃や紙詰まりの除去などの場合に使用します。

2 設置方法

目次

スキャナーの接続	2-1
コダックドライバソフトウェアのインストール - Windows	2-1
コダックドライバソフトウェアのインストール - Linux	2-2
標準出力トレイの取り付け	2-3
オプションの出力トレイキットの取り付け	2-4
電源コードと USB ケーブルの接続	2-7
スキャナーの電源をオンにするには	2-8

スキャナーの接続

このセクションでは、スキャナーに付属の『インストールガイド』の詳細について説明します。これらの手順を順番に実行して、スキャナーを取り付けてください。

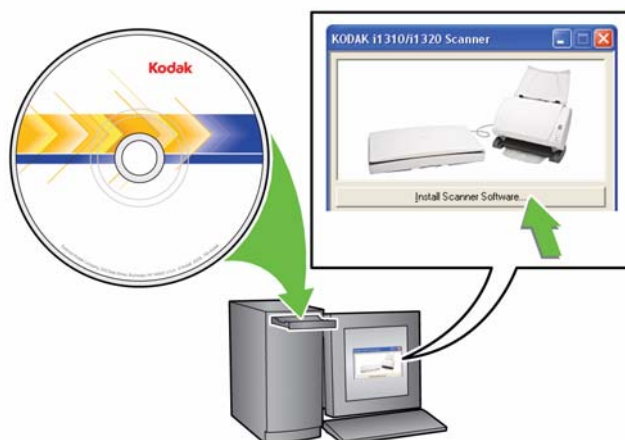
注：『インストールガイド』のすべての手順を実行済みの場合、このセクションをスキップしてください。

コダックドライバソフトウェアのインストール - Windows オペレーティングシステム

1. コダックi1200/i1300 Plus シリーズスキャナーのインストールCDをCD-ROM ドライブに挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。

注：i1200 Plus シリーズスキャナーと i1300 Plus シリーズスキャナーでは、インストール CD が異なります。スキャナーに適した CD を選択してください。

2. [スキャナーソフトウェアのインストール ...] を選択します。



注：

- CD が自動的に起動しない場合、デスクトップ上のマイコン
ピュータアイコンを開きます。CD-ROM ドライブのアイコンを
ダブルクリックし、**Setup.exe** をダブルクリックします。
 - **「Portions of this application are already installed」** という
メッセージが表示されたら、**[Yes]** をクリックしてインストー
ル手順を続行します。これまでにインストールされたコダッ
クスキャナーソフトウェアで、このスキャナーで共有されるも
のは更新されます。
3. [Welcome] 画面が表示されたら、**[Next]** をクリックします。
 4. ソフトウェアライセンス使用許諾を読み、**[I Agree]** をクリックしま
す。インストールが始まり、進行状況が表示されます。
 5. インストールが完了したら、**[Finish]** をクリックします。
 6. インストール CD を CD-ROM ドライブから取り出します。

コダックドライバソフトウェ アのインストール - Linux オ ペレーティングシステム

Linux ドライバはコダックの Web サイトからダウンロードいただけま
す。最新の Linux ドライバやインストール方法を入手するには、
www.Kodak.com/go/disupport にアクセスしてください。

スキャナーを PC に接続する **前**に、ドライバソフトウェアをインストー
ルしてください。

注：

- 次の手順はインストール先のオペレーティングシステム
(Ubuntu、Fedora、または SUSE) によって、若干異なる場合
があります。
- コダックスキャナーソフトウェアには QT3 が必要です。お使
いのシステムにこれらのオペレーティングシステムがインス
トールされているか確認してください（例：Fedora の場合：
[アプリケーション]>[プログラムの追加と削除]の順にクリッ
ク）。
- このソフトウェアをインストールするには、スーパーユーザで
ある必要があります。

標準出力トレイの取り付け

1. スキャナー下部にある出力トレイとセンターガイドを引き出します。

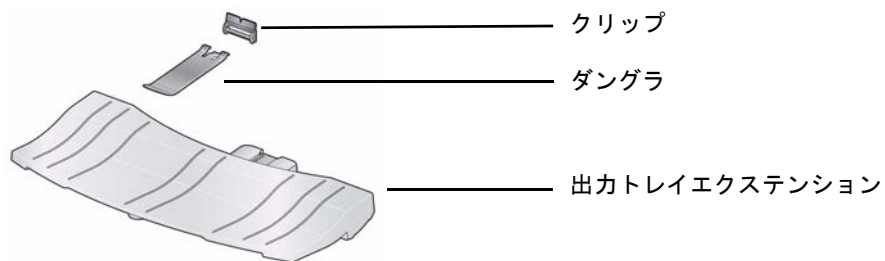


2. 完全に押し込んで固定します。



オプションの出カトレイキットの取り付け

コダック i1200/i1300 Plus シリーズスキャナーには出カトレイキットが付属しており、出カトレイエクステンション、ダングラ、クリップが含まれています。この出カトレイはオプションですが、大量の書類をスキャンする場合に推奨します。



出カトレイキットを取り付ける場合：

1. 2つのタブを押し下げ、出カトレイを持ち上げて、スキャナー下部から標準の出カトレイを取り外します。



2. チルトボタンを押し下げ、スキャナー本体を下方に角度を変えます。

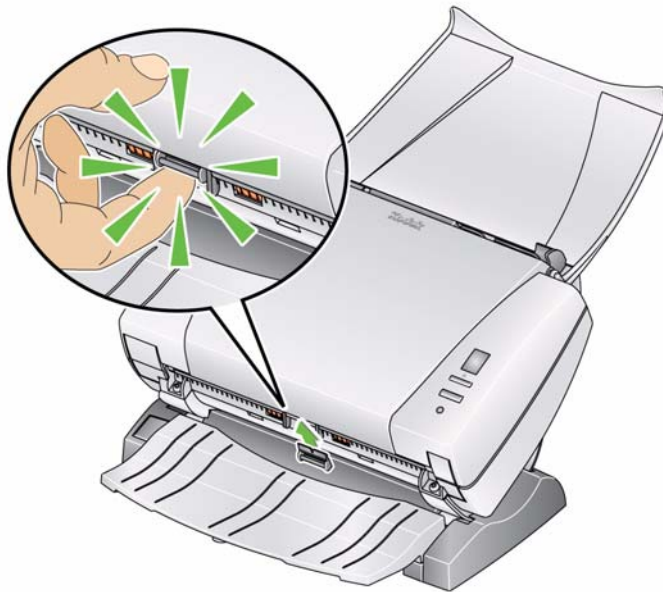
注：この出カトレイを使用するとき、スキャナーは下向きになります。



3. 中央ガイドに沿ってスキャナープラットフォーム下部に出カトレイエクステンションをスライドさせ、完全に固定されるまで押し込みます。

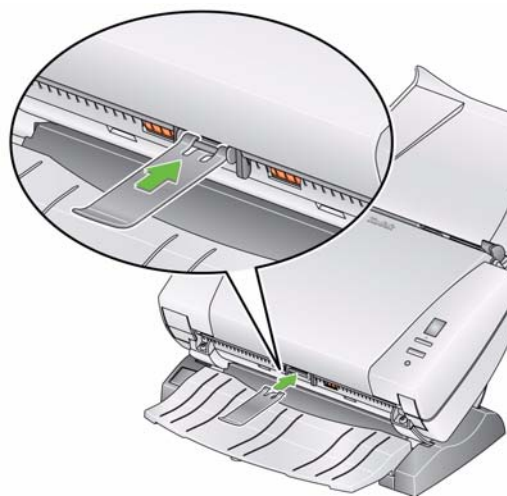


4. スキャナー中央の溝の間にクリップを上向きにスライドさせて取り付け、しっかりはめ込みます。



注：このクリップを取り付けたら、取り外す必要はありません。

5. ダングラをクリップに取り付けます。



6. レールに沿って出カトレイエクステンション下部に出カトレイをスライドさせ、完全に固定されるまで押し込みます。



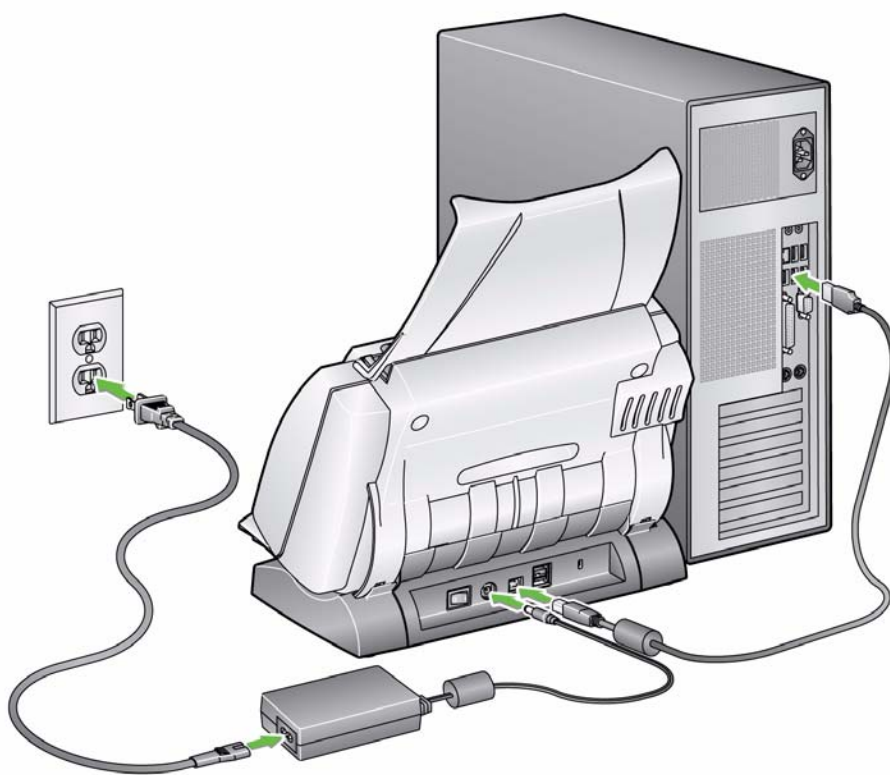
電源コードと USB ケーブルの接続

ドライバのインストール後、電源アダプタと電源コード、USB ケーブルをスキャナーに接続します。以下の図を参照して、正しく接続します。電源コンセントがスキャナーまで 1.52 m (5 フィート) 以内にあり、余裕を持ってコンセントに接続できることを確認してください。

1. スキャナーに同梱されている AC 電源コードから、PSE マークの刻印が入った電源コードを選択します。
2. 選択した電源コードを電源アダプタに接続します。

注：電源コードが電源アダプタにしっかり接続されていることを確認してください。

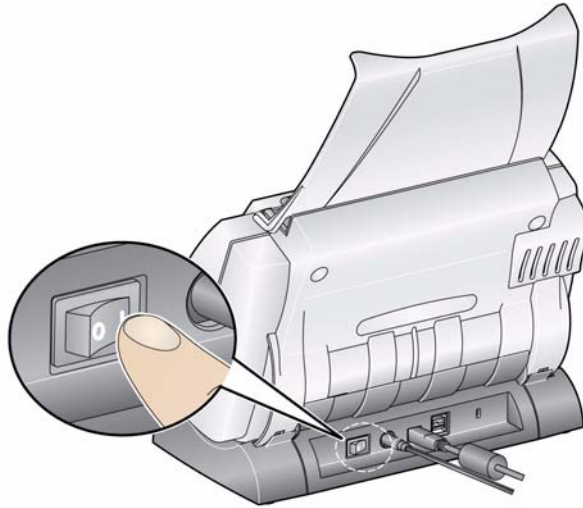
3. 電源アダプタに付属しているコードをスキャナーの電源ポートに接続します。
4. 電源コードのプラグをコンセントに接続します。



5. USB ケーブルをスキャナーの背面にある USB ポートに接続します。
6. USB ケーブルのもう片方のコネクタを PC の USB ポートに接続します。

スキャナーの電源をオンにするには

- スキャナー背面のボタンを押してオンの位置 (I) にします。



スキャナーの電源をオンにすると、スキャナー前面の緑色のインジケータが点滅し、スキャナーが一連のセルフテストを実行していることを示します。

オペレーティングシステムがスキャナーとインストールしたソフトウェアを同期させるまで待機します。

初期化処理が終了してスキャン準備完了になると、LED インジケータが点滅しなくなり、緑色に点灯した状態になります。

3 スキャン

目次

スキャナーの準備	3-1
原稿の準備	3-3
スキャンアプリケーションの選択	3-4
スマートタッチによるスキャン	3-4

スキャナーの準備

1. スキャナーの電源がオンで、スキャンの準備が整っている（緑色のインジケータが点灯している）ことを確認します。

重要：チルト機構を使用する場合は、スキャナーカバーを閉じてください。



2. スキャナーの角度を選択します。

- **下向き：**この位置は最も柔軟性が高く、大半のスキャン作業に使用できます。チルトボタンを押し下げ、スキャナー本体を後ろ側に倒します。



- **上向き：**この位置は、狭い場所でスキャンする場合に使用します。チルトボタンを押し下げ、スキャナー本体を手前に起こします。



3. サイドガイドを調整（外側または内側にスライドさせる）してスキャンする原稿のサイズに合わせます。



4. 入カトレイを調整します。入カトレイを開いた状態、または閉じた状態で、書類をスキャンできます。複数枚の書類をスキャンする場合は、入カトレイを開いて書類を給紙します。



入カトレイ - 開いた状態



入カトレイ - 閉じた状態

設置スペースの都合で入カトレイを閉じている場合は、書類を1回に1枚ずつ給紙します。

5. 出カトレイを調整し、必要なスキャンに合わせます。
 - 標準出カトレイの位置は、テーブルと並行になるように設定できます。この位置は、一度に数ページ程度をスキャンするような場合に適しています。



- 5枚以上のページをスキャンする場合や、出力トレイエクステンションを使用する場合はスキャナーを下向きにします。



- 出力トレイを拡張して、14インチまでの書類に対応できます。

原稿の準備

1. 標準用紙サイズの前稿は、スキャナーへ簡単に給紙できます。スキャンする原稿は、先端を揃えて入力トレイの中央に来るように重ねます。これにより、フィーダから原稿が1枚ずつスキャナーに送られるようになります。
2. ホチキスやクリップは、スキャンする前にすべて取り除いてください。原稿がホチキスやクリップで留められていると、スキャナーや原稿が損傷を受ける場合があります。
3. スキャンを開始する前に、用紙上のすべてのインクと修正液が乾いていることを確認してください。
4. スキャンする原稿をスキャナーの入力トレイにセットします。原稿の表面が入力トレイ側に向けられ、原稿の上部が入力トレイに挿入されていることを確認してください（以下を参照）。



スキャンアプリケーションの選択

スマートタッチ – コダックのスマートタッチで、次のような一般的なスキャンタスクをすばやく簡単に実行できます。

- 受信した顧客からのメッセージをスキャンして支店内の社員と共有する
- 紙ベースのレポートからサーチャブル PDF を作成する
- 請求書をスキャン、ファックス、印刷する
- 写真をスキャンしてプレゼンテーションに追加する

9 種類の事前設定されたタスクのショートカットがあります。ショートカットを修正して名前を変更し、独自のカスタムタスクを作成できます。送信する前に、イメージをプレビューして簡単に編集（ズーム、パン、回転、クロップなど）することもできます。

ScanSoft PaperPort – このソフトウェアを使用して原稿を整理されたファイルにスキャンし、検索、利用、共有を容易にします。PaperPort の独自のビジュアルデスクトップで、原稿のサムネイルを表示し、情報を素早く簡単に見付けられます。

注：スマートタッチは、コダックドライバソフトウェアと同時にインストールされます。上記のその他のスキャンアプリケーションは、お使いのスキヤナーに付属の別 CD に収録されています。インストールおよび使用方法は、アプリケーションのユーザズガイドを参照してください。

スマートタッチによるスキャン

次の手順は、スマートタッチを使用して**白黒 PDF** を作成する例です。スマートタッチの詳細は、インストール CD のスマートタッチ ユーザズガイドを参照してください。

1. ファンクションウィンドウに番号 **6** が表示されるまでスクロールボタンを押します。
2. **スタートボタン**を押します。

原稿がスキャンされ、読み込まれたイメージが [マイドキュメント] のスマートタッチディレクトリの出力フォルダに出力されます。

4 メンテナンス

目次

スキャナーカバーの開け方	4-1
クリーニング手順	4-2
ローラのクリーニング	4-2
セパレーションモジュールのクリーニング	4-3
フィードモジュールのクリーニング	4-4
スキャナーの清掃	4-6
イメージングガイドのクリーニング	4-6
トランスポートクリーニングシートによるクリーニング	4-7
交換手順	4-8
セパレーションモジュールタイヤの交換	4-8
プリセパレーションパッドの交換手順	4-10
フィードモジュールタイヤの交換	4-11
プリセパレーションローラのテンションの調整	4-13
消耗品	4-14

スキャナーカバーの開 け方

1. スキャナーカバーを開ける前に、入力トレイが開いていることを確認し、オプションの出力トレイまたはダングラが接続されている場合は取り外します。
2. スキャナーカバーのリリースレバーを押したまま、スキャナーカバーを開きます。



3. スキャナーのクリーニングや部品の交換が完了したら、スキャナーカバーを両手で閉じます。

クリーニング手順

スキャナーは定期的に清掃する必要があります。原稿がうまく搬送できなくなったり、複数枚の書類が一度に搬送されたり、イメージに線が入ってしまうときは、スキャナーをクリーニングする必要があります。この章の終わりの「消耗品」には、スキャナーの清掃に必要な消耗品のリストが示してあります。

重要：コダック部品サービス部門により提供されているような不燃クリーナーのみを使用します。家庭用クリーナーは使用しないでください。

表面の温度が常温に下がってからクリーナーを使用してください。高熱面にクリーナーを使用しないでください。

換気を行ってください。狭い場所でクリーナーを使用しないでください。

注：

- クリーニング前に、電源を切断します。
- メンテナンス作業が終わったら、石鹼と水で手を洗ってください。

ローラのクリーニング

1. スキャナーカバーを開けます。
2. ローラークリーニングパッドを使って、フィードローラを磨くように拭きます。フィードローラを回転させて、全表面を清掃します。



重要：ローラークリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウムが含まれています。詳細については、MSDS（製品安全データシート）を参照してください。

3. チリの出ない布でローラを乾拭きします。

セパレーションモジュールの クリーニング

正しくクリーニングするには、スキャナーからセパレーションモジュールを取り外す必要があります。

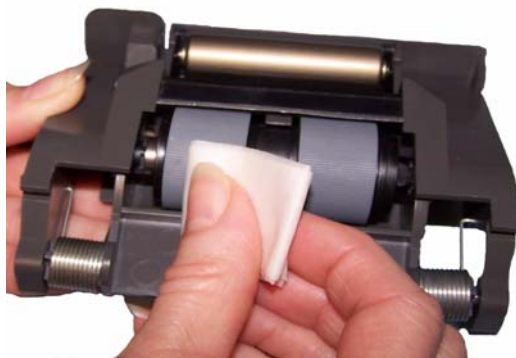
注：セパレーションモジュールを取り外してクリーニングする場合、入力トレイを取り外した方が簡単です。入力トレイを取り外すには、入力トレイの右か左を軽く押しながら、溝からピンを外し、入力トレイを取り外します。



1. セパレーションモジュールを押し上げて取り外します。



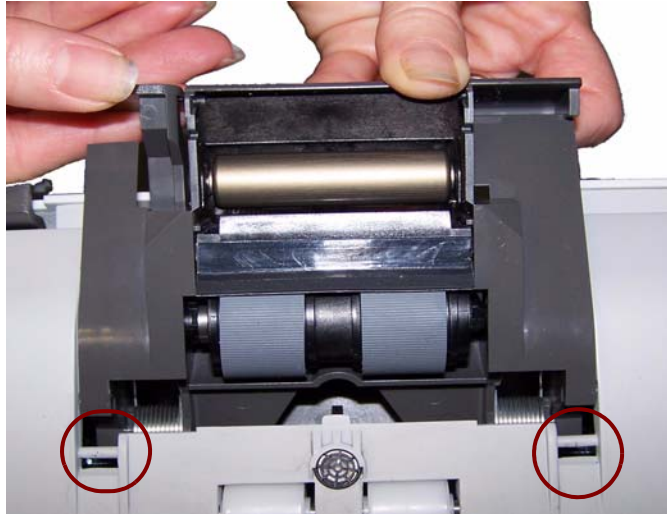
2. セパレーションモジュールタイヤを回しながらローラークリーニングパッドで拭きます。



3. セパレーションモジュールを確認します。

セパレーションモジュールタイヤに消耗や損傷している兆候が見える場合には、セパレーションモジュールを交換します。詳細は「交換手順」を参照してください。

4. セパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。

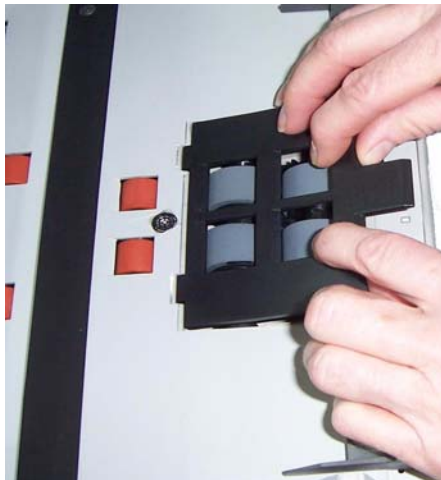


フィードモジュールのクリーニング

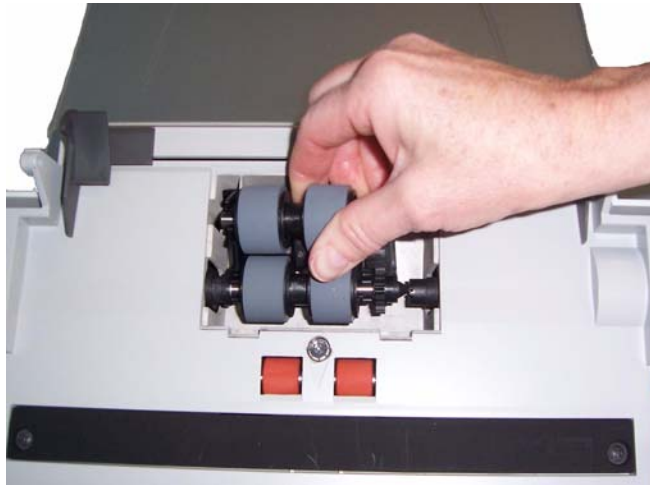
- 注：フィードモジュールを取り外したり、フィードモジュールの周囲をクリーニングする場合、用紙センサを傷つけないように注意してください。



1. フィードモジュールカバー中央の先端をつまみ、持ち上げながら外します。



2. フィードモジュールを回転させ、左側に押込みながら外します。



3. フィードモジュールタイヤを回しながら、ローラークリーニングパッドで拭いてください。



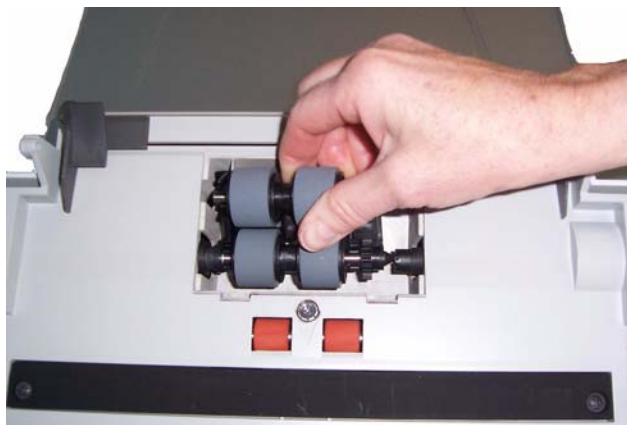
4. フィードモジュールを確認します。

フィードモジュールタイヤに消耗または損傷している兆候が現れた場合には、フィードモジュールを交換します。詳細は「交換手順」を参照してください。

5. 掃除機やクリーニングパッドを使って、フィードモジュールのゴミやホコリを取り除きます。



6. フィードモジュールピンを合わせ、左に押し込みながら定位置に戻します。歯車が正しくかみ合うように取り付けてください。フィードモジュールを元の位置に戻します。



7. タブを溝に合わせてフィードモジュールカバーを正しい位置に押し込み、しっかりと取り付けてください。

スキャナーの掃除

イメージングガイドをクリーニングする前に、スキャナー内部に掃除機を使って、ゴミやほこりを取り除きます。

イメージングガイドの清掃

1. 上部イメージングガイドおよび下部イメージングガイドを静電クリーニングクロスで拭きます。イメージングエリアをこすらないように注意してください。

重要： 静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌のかさつきの原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹼と水で手を洗ってください。詳細については、MSDS（製品安全データシート）を参照してください。



2. 線を除去するために再使用可能な静電クリーニングクロスを使って、もう一度イメージングガイドの上と下を拭きます。
3. 完了したら、スキャナーカバーを両手で閉じます。

トランスポートクリーニングシートによるクリーニング

1. トランスポートクリーニングシートの包装を外します。
 2. クリーニングシートに合わせてサイドガイドを調整します。
 3. 入カトレイにトランスポートクリーニングシートを（粘着面を手前にして）縦にセットします。
 4. スキャン用アプリケーションを使って、トランスポートクリーニングシートをスキャンします。
 5. トランスポートクリーニングシートをスキャンしたら、裏返して（粘着面を入カトレイにに向ける）もう一度スキャンします。
 6. スキャナーカバーを開け、繊維くずの出ない布でイメージングガイドを拭いてクリーニングします。
 7. スキャナーカバーを両手で閉じます。
 8. イメージ品質を確認します。
 9. 必要に応じて、この手順を繰り返し、ローラに残った汚れを取り除きます。
- 注：クリーニングシートがかなり汚れたら、破棄して新しいシートを使用してください。

交換手順

コダックスキャナーは、さまざまな種類、サイズ、厚みの原稿を給紙できる、交換可能なタイヤを使用しています。タイヤの寿命とパフォーマンスは、ご利用の原稿の種類、搬送路とタイヤのクリーニングの頻度や、推奨するタイヤ交換スケジュールに従っているかどうか、などの条件により異なります。標準のタイヤの平均寿命は、約 125,000 枚です。耐用年数については保証されていません。お客様の運用環境、原稿の種類、スキャン対象原稿の状態、推奨する清掃／交換手順の遵守状況によって、消耗品の寿命は異なります。後述する清掃手順に従って作業を行っても、重送、紙詰まり、およびフィーダパフォーマンスの低下などの問題が頻発する場合は、タイヤを交換してください。

注：

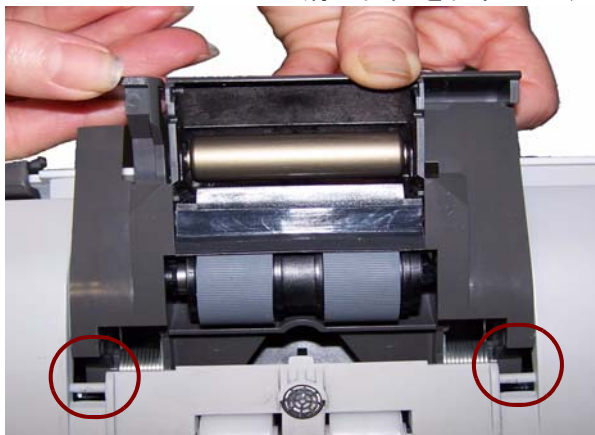
- 交換する前に、電源を切断します。
- 特定の用紙タイプ（ノンカーボン用紙や新聞紙）を使用した場合、クリーニングを定期的に行わなかった場合、推奨品以外のクリーニング液を使用した場合などは、ローラの寿命が短くなることがあります。

セパレーションモジュールタイヤの交換

1. セパレーションモジュールを押し上げて取り外します。



- セパレーションモジュールを交換する場合、新しいセパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。



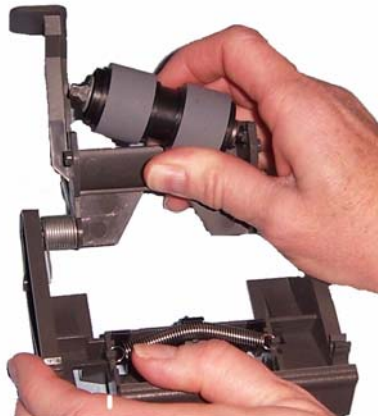
- タイヤを交換する場合は、ステップ 2 に進んでください。

2. セパレーションモジュールを持ったまま、リリースレバーを後に回し、セパレーションローラーを取り出します。

注意：リリースレバーにはスプリングが付いているので、正しく保持しないと跳ね返るおそれがあります。十分に注意してください。



3. セパレーションモジュールからセパレーションローラを取り外します。



4. 各タイヤを軸から外します。



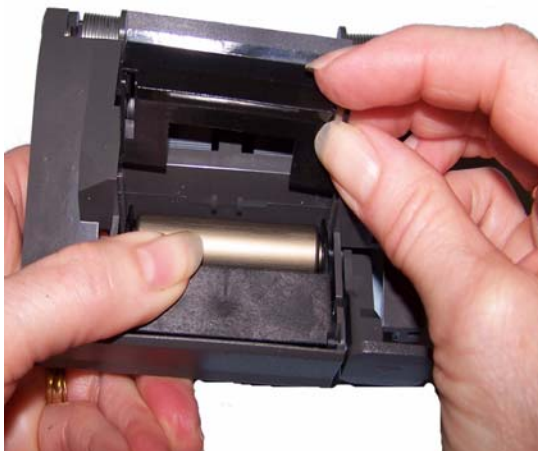
5. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。
重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。破損する場合があります。
6. セパレーションローラを元の位置に取り付けます。正しい位置にセパレーションローラを取り付けてください。
7. セパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。

プリセパレーションパッドの 交換手順

1. 「セパレーションモジュールタイヤの交換」で説明されている手順に従って、スキャナーからセパレーションモジュールを取り外します。
2. 両手でセパレーションモジュールを持ち、セパレーションモジュールの後部からわずかに出ている、2つのサイドタブを確認します。



3. サイドタブを、プリセパレーションパッドがセパレーションモジュールの前面から少し出るまで押し出します。
4. プリセパレーションパッドをつまみ、セパレーションモジュールから引き出します。



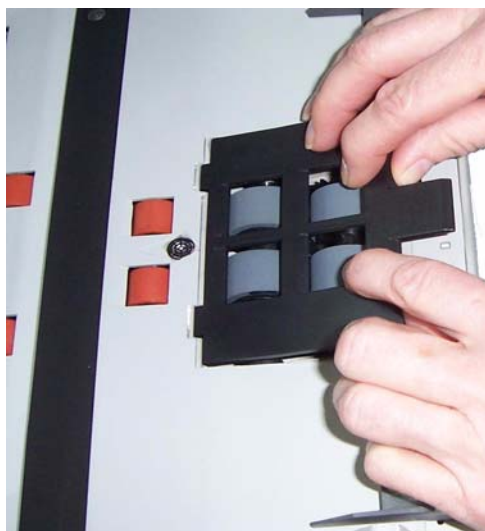
5. 使用済みのプリセパレーションパッドを破棄します。
6. 新しいプリセパレーションパッドのサイドタブと、セパレーションモジュールの溝を合わせます。
7. プリセパレーションパッドフラップがセパレーションモジュールタイヤに軽く付くまで、しっかりと押し込みます。
8. セパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。

フィードモジュールタイヤの交換

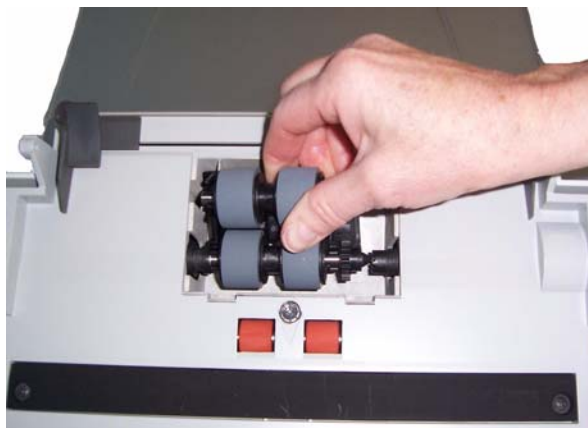
注：用紙センサはフィードモジュールの右側にあります。フィードモジュールを取り外したり、フィードモジュールの周囲をクリーニングする場合、用紙センサを傷つけないように注意してください。



1. フィードモジュールカバーのタブを持ち上げ、取外します。



2. フィードモジュールを回転させ、左側に押込みながら外します。



- フィードモジュールを交換する場合、新しいフィードモジュールピンを合わせ、左に押し込みながら定位置に収めます。ギアが正しい位置にはめ込まれていることを確認し、ステップ 8 に進みます。
- タイヤを交換する場合は、ステップ 3 に進んでください。

3. コアアセンブリを持ち上げて取り外します。



4. 各タイヤを軸から外します。



5. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。

重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。

6. フィードモジュールにコアアセンブリを取り付けます。フィードモジュールを正しく取り付けるために、シャフトを右か左にずらす必要があることもあります。



7. 上記の交換手順を繰り返して、もう一方のコアアセンブリのタイヤを交換します。
8. フィードモジュールを取り付けます。
9. タブを溝に合わせてフィードモジュールカバーを正しい位置に押し込み、しっかりと取り付けてください。

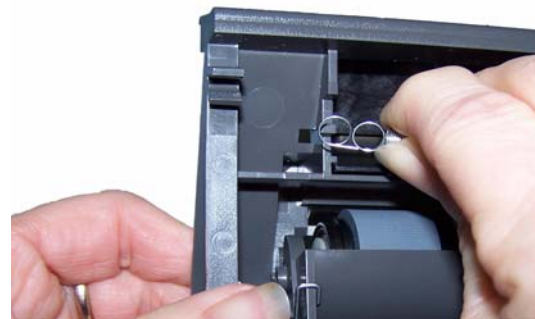
プリセパレーションローラのテンションの調整

重送または原稿詰まりが発生している場合は、プリセパレーションローラのテンションを調整する必要があります。

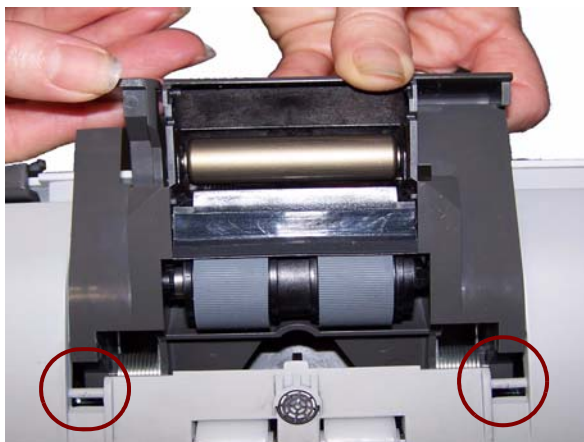
1. 「セパレーションモジュールタイヤの交換」で説明されている手順に従って、スキャナーからセパレーションモジュールを取り外します。
2. セパレーションモジュールのバネがあります。



3. このバネをホルダから持ち上げて左か右に動かし、テンションを調整します。



4. 完了したら、セパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。



供給品と消耗品

消耗品を注文するには、最寄りのスキャナー販売代理店に連絡してください。

説明	CAT No.
i1200/i1300 Plus 用コダックフィードローラ (数量 : 12)	148 4864
i1200/i1300 Plus 用コダックセパレーションモジュール	173 6115
i1200/i1300 Plus 用コダックフィードモジュール	826 9607
コダックデジタルサイエンスローラークリーニングパッド (24 個)	853 5981
トランスポートクリーニングシート (50 シート)	169 0783
コダックスキャナー用静電クリーニングクロス (数量 6 ボックス、24 枚)	896 5519
オプションのクリーナパッド	868 3724

注：品目とカタログ番号は、変更される場合があります。

付録 A 仕様

この付録では、スキャナーの使用とシステム要件について記載していません。

スキャナーの種類/速度	<p>コダック i1210 Plus スキャナー — 解像度 200 dpi でカラー 30 ページ/分、白黒、グレースケール 45 ページ/分でスキャンが可能な片面スキャナーです。</p> <p>コダック i1220 Plus スキャナー — 解像度 200 dpi でカラー 30 ページ/分、白黒、グレースケール 45 ページ/分でスキャンが可能な両面スキャナーです。</p> <p>コダック i1310 Plus スキャナー — 解像度 200 dpi でカラー 40 ページ/分、白黒、グレースケール 60 ページ/分でスキャンが可能な片面スキャナーです。</p> <p>コダック i1320 Plus スキャナー — 解像度 200 dpi でカラー 40 ページ/分、白黒、グレースケール 60 ページ/分でスキャンが可能な両面スキャナーです。</p>
スキャンテクノロジー	<p>CCD の種類</p> <p>グレースケール出力階調 256 レベル (8 bit)</p> <p>カラー読み取り階調は 48 ビット (16 x 3) です</p> <p>カラー出力階調 24 bit (8 x 3)</p>
出力解像度	75、100、150、200、240、300、400、600、1200 dpi
出力ファイルフォーマット	シングル/マルチページ TIFF、JPEG、RTF、PDF、サーチャブル PDF
最小原稿サイズ:	63.5 x 50 mm (2.5 x 2 インチ)
最大原稿サイズ:	<p>スキャナー — 215 x 863 mm (8.5 x 34 インチ)</p> <p>フラットベッド — 215 x 297 mm (8.5 x 11.69 インチ)</p>
用紙の重量	34 g/m ² ~ 413 g/m ² (9 ~ 110 lbs.)
ADF 容量	75 枚 (20-lb./75 g/m ²) 用紙; 運転免許証や健康保険証などの ID カードやクレジットカードなどのエンボス付きプラスチックカードなどの小さい原稿にも対応
一日の推奨処理枚数	<p>3,000: i1210 Plus、i1220 Plus スキャナー</p> <p>5,000: i1310 Plus、i1320 Plus スキャナー</p>
光源	蛍光灯 (冷陰極管)
電源要件	AC 100 ~ 240 V (海外対応)、50/60 Hz
外形寸法	<p>高さ: 246 mm / 9.7 インチ (入力トレイを除く)</p> <p>幅: 330 mm / 13 インチ</p> <p>奥行き: 162 mm / 6.3 インチ (入力トレイと出力トレイを除く)</p>
重量	<p>i1210/i1310 Plus : 5.2 kg (11.5 ポンド)</p> <p>i1220/i1320 Plus : 5.5 kg (12 ポンド)</p>
インターフェース	USB 2.0
使用環境温度	10 °C ~ 35 °C
湿度	15 ~ 76% RH
環境要因	Energy Star 認証スキャナー

消費電力 - スキャナー	オフモード : <4 W 稼動時 : <35 W
消費電力 - A3 フラットベッド接続時	オフモード : ≤6 W 稼動時 : <65 W
騒音 (音圧レベル)	動作 : 58 dB(A) 未満 オフモード : 30 dB(A) 未満
同梱ソフトウェア	Nuance ScanSoft PaperPort Deluxe ソフトウェア、Asia / コダックスキャナー版

システム要件

コダック i1200/i1300 Plus シリーズスキャナーの実行に推奨する最小システム要件は以下のとおりです。

- 推奨プロセッサとメモリ :
 - 長さ 660 mm (26 インチ) 以下の原稿を 400 dpi 以下でスキャンする場合 : Core-2 Duo、2 GHz/ コアプロセッサ、2 GB RAM
 - これ以上の長さの原稿、またはより高い解像度でスキャンする場合 : Core-2 Duo、2 GHz/ コアプロセッサ、3 GB RAM
 - Windows 7 x64 bit 用
 - 長さ 660 mm (26 インチ) 以下の原稿を 400 dpi 以下でスキャンする場合 : Core-2 Duo、2 GHz/ コアプロセッサ、2 GB RAM
 - これ以上の長さの原稿、またはより高い解像度でスキャンする場合 : Core-2 Duo、2 GHz/ コアプロセッサ、4 GB RAM
 - USB 2.0 ポート (USB 1.1 でも互換性はありますが、速度が遅くなります)
- 200 MB 以上のハードディスク空き容量
- サポートされているオペレーティングシステム :
 - Microsoft Windows 8 (32 ビットおよび 64 ビット)
 - Microsoft Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット)
 - Microsoft Windows Vista (32 ビットおよび 64 ビット) ; SP2
 - Microsoft Windows XP SP2/SP3 (32 bit)
 - Microsoft Windows XP SP2 x64 Edition
 - Microsoft Windows 2003 Server R2 x64 Edition (TWAIN のみ)
 - Linux Ubuntu 9.04
 - Linux SUSE 11.1
 - Linux Fedora 10

搭載されているドライバ :

- Windows オペレーティングシステム : TWAIN、ISIS、WIA
- Linux ディストリビューション : TWAIN、SANE

付録 B 保証 —米国とカナダのみ

コダックスキャナーをご購入いただき、ありがとうございます。コダックスキャナーは、お客様に最高レベルのパフォーマンスと信頼性をお届けします。すべてのコダックスキャナーは次の限定保証の対象となります。

コダックスキャナーの限定保証

イーストマンコダック社は、コダックまたはコダック認定代理店を通じて販売された、コダックスキャナー（部品および消耗品を除く）に次の限定保証を適用します。

コダックは、販売時から製品に適用される限定保証期間内において、コダックスキャナーの材料および製造上の欠陥がなく、特定のコダックスキャナーに該当するパフォーマンス仕様に準拠することを保証します。

すべてのコダックスキャナーには以下の保証除外規定が適用されます。欠陥がある、または製品仕様に準拠していないコダックスキャナーは、コダックの判断により、修理、新製品または代替製品と交換されます。

購入者は、電話 (800-822-1414) または当社の Web サイト (www.Kodak.com/go/warranty) で、購入したコダックに適用される限定保証期間を確認できます。また、この保証期間はコダックスキャナーに同梱されている限定保証の概要のカードにも記載されています。

保証によるサービスを受けるには、購入を証明する書類が必要となります。

保証の除外

コダックの限定保証は、災害、事故、不可抗力、輸送などの原因によって、購入後にコダックスキャナーがこうむった物理的損害には適用されません。これには、次の場合が含まれます。(a) コダックにスキャナーを送り返す際に、その時点で最新のコダックの梱包と輸送のガイドラインにしたがってスキャナーを梱包および輸送しなかったために損害が生じた（発送前に輸送中の損害を防ぐ手段を講じなかった、または、使用前にこれらの手段を取り外さなかった場合を含む）。(b) ユーザのオペレーティングシステムまたはアプリケーションソフトウェアのインストール、システム統合、プログラミング、または再インストール、製品またはコンポーネントのシステムエンジニアリング、移動や廃棄、データの再構築によって損害が生じた（コネクタ、カバー、ガラス、ピン、シールの破損を含む）。(c) コダック、またはコダックの正規修理店以外によってサービス、変更、または修理が行われた、または、製品の改造、コダック製品の模造コンポーネントやコダック社製以外のコンポーネント、アセンブリ、アクセサリ、モジュールの使用によって損害が生じた。(d) 誤用、妥当な範囲外の製品の扱いやメンテナンス、手荒な扱い、使用者のミス、適切な監督やメンテナンスを行わなかった（推奨されている手順や仕様に逆らった、コダックの承認しないクリーニング用品やその他のアクセサリに使用を含む）ことによって損害が生じた。(e) 環境的な条件（過度な高温や、その他の不適切な物理的稼働環境）、腐食、しみ、製品外での電気配線、静電気放電 (ESD) 保護を行わなかったことによって損害が生じた。(f) 製品に対して提供されているファームウェアの更新やリリースをインストールしなかったために損害が生じた。(g) その他の随時追加される除外項目によって損害が生じた。これらの追加項目はオンライン (www.Kodak.com/go/warranty) または電話 (800-822-1414) で確認可能。

コダックでは、米国以外の国で購入された製品に対しては、限定保証を提供していません。米国外の流通経路から製品を購入した場合は、購入元によって保証が行われます（該当する場合）。

コダックでは、サードパーティの製品、コンピュータシステム、またはその他の電子機器の一部として購入された製品に対しては、限定保証を行いません。

これらの製品に対する保証は、OEM (Original Equipment Manufacturer) により、このメーカーの製品やシステムの一部として提供されます。

製品を交換した場合の限定保証の期間は、欠陥のあった元の製品に適用される期間か、30 日のうち、長い方となります。

設置に関する警告と断り書き

コダックでは、原因のいかんを問わず、この製品の販売、設置、使用、修理、または機能障害に起因する結果的または偶発的な損害について、いかなる責任も負いません。これらのコダックが保証責任をもたない損害には、収入や利益の損失、データの損失、ダウンタイムの費用、製品の使用の損失、当製品を置換する製品のコスト、設備やサービス、および顧客によるこれらの損害に対する要求を含み、また、これに限られたものではありません。

この付録の条項と、限定保証の条項間に矛盾がある場合は、限定責任の条項が優先されます。

限定保証によるサービスを受けるには

コダックスキャナーには、開梱、セットアップ、設置、操作に関する情報が付属しています。ユーザーズガイドを注意して読めば、製品の適切な設置、使用、メンテナンスに関し、ほとんどの技術的情報が得られるはずです。ただし、ユーザーズガイドを参照してもまだ疑問がおありの場合は、当社の Web サイト (www.Kodak.com/go/disupport) にアクセスしていただくか、または以下までお問い合わせください。

コダックサポートセンター：(800) 822-1414

サポートセンターは、休日を除く月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 5 時まで営業しています。

お問い合わせになる前に、該当する購入者はコダックスキャナーのモデル番号、パーツ番号、シリアル番号、購入を証明できるものをご用意ください。また、問題について説明できるように、情報を整理しておいてください。

サポートセンターの担当者は、ユーザが問題を解決できるように、電話でお手伝いします。場合によっては、いくつかの簡単な自己診断テストを実行して、結果のステータスやエラーコードのメッセージを伝えるように求められることがあります。これは、問題がコダックスキャナーにあるかまたは別のコンポーネントにあるのか、問題を電話で解決できるか、サポートセンターでの判断に役立てるためです。サポートセンターが、ハードウェアの問題が限定保証や購入されたメンテナンスサービスの範囲であると判断する場合は、必要に応じて RMA 番号 (Return Material Authorization Number) が発行されます。その後、サービスのリクエストが発行され、修理か交換が行われます。

梱包と輸送のガイドライン

購入者は、保証が適用される製品を返送する場合、製品が輸送中に損傷しないように、十分な梱包を行ってください。梱包が十分でなかった場合、コダックスキャナー保証が無効になります。製品の保管や輸送のために、元の箱や梱包を保管しておくことをお勧めします。コダックでは、輸送中の損傷に関連する問題については責任を負いません。購入者はコダックスキャナーのみを返品してください。発送の前に、すべての追加のアイテム（アダプタ、ケーブル、ソフトウェア、マニュアルなど）を取り外して、保管しておいてください。コダックはこれらの品目について責任を負わず、修理または交換したコダックスキャナーと一緒に返送されません。すべての製品は、元の梱包、または返品するユニットに対して承認された梱包を使用して、コダックに返送してください。購入者はコダックスキャナーを発送する前に、梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、コダックのサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品のパーツ番号と注文方法を問い合わせてください。

返送の手順

本限定保証の対象となるコダックスキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内にコダックの現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、コダックスキャナーをエンドユーザの送料および保険料負担で RMA で指定する宛先まで発送するものとします。

コダックが交換した製品や部品は、コダックの所有となります。

顧客の責任

サービスの要求を行うことによって、限定保証の対象となる購入者は、限定保証の条件（断り書きと限定保証の条項を含む）に合意したものとみなされます。サービスを受けるまえに、ユーザは損傷を受ける、または損失される恐れのあるデータやファイルをすべてバックアップしてください。コダックでは、失われた、または損傷を受けたデータやファイルに対し、何ら責任を負いません。

保証サービスの説明

イーストマンコダック社（コダック）は限定保証をサポートし、コダックスキャナーの使用および取り扱いを支援する（サービス方法）、さまざまなサービスプログラムを提供しています。コダックスキャナーは重要な投資です。コダックスキャナーは、競争力を維持するために必要な生産性を発揮します。たとえ一時的であっても、この生産性を失うと、ビジネスに支障が生じる場合があります。ダウンタイムは、修理費だけでなく、時間を失ったという意味でも、非常に高価なものになりえます。これらの問題を避けるために、コダックでは限定保証の遂行にあたり、製品タイプによって、以下にあげるサービス方法のいずれかを使用します。

選択したコダックスキャナーには限定保証登録カードと限定保証概要カードが付属しています。このカードは、モデルごとに異なります。限定保証の概要カードには、モデル番号と限定保証を含む、重要な保証に関する情報が記載されています。特定のコダックスキャナーに適用されるサービス方法を判断するには、限定保証概要カードを参照してください。

限定保証登録カード、または限定保証の概要カードが見つからない場合、製品に関する情報（最新の保証やサービスプログラムに関する情報や制限を含む）は、オンライン (www.Kodak.com/go/disupport) または電話 (800-822-1414) で入手できます。

サービスの遅延を避けるために、限定保証登録カードをできるだけ早く返送してください。限定保証登録カードが同梱されていない場合は、オンライン (www.Kodak.com/go/disupport) または電話 (800-822-1414) でも登録を行えます。

コダックはまた、コダックスキャナーの使用と取り扱いを支援するために購入できるサービスプログラムも提供しています。コダックでは、限定保証によってお客様に、品質、パフォーマンス、信頼性、そしてサービスをお届けするべく、努力しています。

出張サービス

選択したコダックスキャナーに対して、サポートセンターがハードウェアプログラムを確認した場合、サービスコールが作成され、記録されます。製品がアメリカ合衆国の 48 州、またはアラスカとハワイの一部の地域にあり、技術者がスキャナーにアクセスするにあたってセキュリティ上、安全上、または物理的な制限のない場合は、コダックの技術者が製品のある場所に派遣されて、修理が行われます。サービスが提供されている地域の詳細については、当社の Web サイト (www.Kodak.com/go/docimaging) を参照してください。出張サービスは、休日を除く、月曜日から金曜日までの現地時間で午前 8 時から午後 5 時の間に実施されています。

AUR

AUR は、業界で提供されているサービスの中で、もっとも簡単で、包括的なものといえるでしょう。万が一製品に欠陥があった場合、特定のコダックスキャナーの該当する購入者に対し、コダックは 2 営業日以内に製品を交換します。

AUR では特定の障害または破損のあるコダックスキャナーについて、事前に交換を行います。AUR を利用するには、対象となる購入者は RMA 番号を取得し、アドバンス交換合意書に署名し、交換用製品を確保するためのクレジットカードへの課金に了承します。RMA 番号は、交換のための製品を確認しなければならない場合のために、大切に保管してください。対象となる購入者は、交換のための製品の郵送先住所を尋ねられます。また、故障した製品の返品のために、梱包と発送に関する指示がファックスで送信されます。サービスのリクエストが始まり、コダックが署名された合意書を受け取ってから 2 営業日以内に、交換用の製品が届けられます。故障した製品は、ユーザが交換用製品を受け取ってから 10 日以内にコダックに届けられる必要があります。この期日を過ぎると、交換用製品の標準価格がユーザのクレジットカードに課金されます。交換用製品の発送にあたっては、コダックが送料を負担し、輸送手段を選択します。コダックの指示や、コダックが希望する輸送業者以外を使って発送が行われた場合、限定保証は無効になることがあります。

製品をコダックに返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。故障した製品の返送には、交換用製品に使われていた箱と梱包を使用してください。故障した製品が、交換用製品に使われていた箱と梱包で返送されなかった場合、限定保証は無効になることがあります。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization) 番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

ディーポサービス

コダックスキャナーがアドバンス交換またはオンサイトサービスの対象外の場合、該当する購入者はディーポ修理サービスを利用できません。対象となる購入者は、最寄の正規ディーポ修理センターに製品を送るように指示されます。修理センターまでの輸送の費用は購入者が負担し、輸送中の破損などについては購入者が責任をもつものとします。製品を修理センターに返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。すべての製品は、元の梱包、または推奨されている箱を使用して、コダックに返送してください。コダックスキャナーは、発送前に梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、コダックのサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品の注文方法を問い合わせてください。コダックスキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMA の発行から（10 営業日以内にコダックの現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、コダックスキャナーをエンドユーザの送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するもの）とします。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization) 番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

製品の受理後、修理センターは製品を 10 営業日以内に修理します。修理された製品は、2 日以内に配送されるエクスプレス便で購入者に返送されます。購入者はこの送料を負担する必要はありません。

重要な制限

資格：アドバンス交換プログラムおよびディーポサービスは米国 50 州の該当する購入者が利用でき、オンサイトサービスは隣接した 48 州、アラスカおよびハワイの特定の領域でコダックの認定ディストリビュータから購入した製品に対して利用できます。コダックスキャナーは、購入者がコダックのその時点で有効な梱包および発送のガイドラインに従って欠陥のある製品を返送しなかった場合など、製品がコダックのその時点で有効な保証除外規定を満たさない場合、保証内のいかなるサービスも受けられません。購入者は、コダックスキャナーを個人またはビジネス目的で購入し、再販目的ではない場合に「該当する購入者」または「エンドユーザ」とみなされます。

消耗品：消耗品は、通常の使用において消費され、必要に応じてエンドユーザによって交換される品目です。消耗品や備品など、および、ユーザーズガイドでユーザの責任であると述べられているアイテムは、限定保証の対象とはなりません。

上記の除外される部品やサービスは、正規サービス店が独自の条件と料金で提供しています。

コダックが交換した製品や部品は、コダックの所有となります。

コダックの連絡先

コダックスキャナーに関する情報：

Web サイト：www.Kodak.com/go/docimaging

米国内の電話によるサービス、修理、技術サポート

電話によるテクニカルサポートは、休日を除く月曜日から金曜日まで、午前 8 時から午後 5 時まで営業しています。

電話番号：(800) 822-1414

技術文書と FAQ (24 時間)：

Web サイト：www.Kodak.com/go/docimaging

サービスプログラム情報：

Web サイト：www.Kodak.com

電話番号：(800) 822-1414

Kodak